

## 技術開発全体計画

四国森林管理局

課 題	再造林地でのノウサギ食害対策について				開発期間	平成29年度～平成31年度	
開発箇所	局管内	担当部署	森林技術・支援センター	共同研究機関	技術開発目標	2	
現状と問題点	<p>現在、森林技術・支援センターが設定している各試験地において、ノウサギによる植栽木の食害が、シカ食害と混在して発生している状況が確認されたことから、各署（所）の状況を問い合わせたところ、四国森林管理局管内全署（所）において、ノウサギによる食害が発生していることが確認できた。</p> <p>また、職員へのノウサギ捕獲ワナの講習会やノウサギ防護を目的としたネットの購入などを検討している署もあるという状況になっている。</p> <p>今後、主伐の拡大に伴い再造林地の増加が見込まれる中、シカ被害対策と併せて、現在対策を実施していないノウサギの食害についても、必要に応じ植栽計画の段階から適切な対策を講ずる必要がある。</p>						
開発目的	植栽計画の段階から、適切なノウサギ食害対策を講ずることができるように、ノウサギの生息状況の把握や効果的な食害防止対策に繋がる手法を開発・検証する。						
開発方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存情報の収集 これまでのノウサギ被害及び対策に関する情報収集・分析</li> <li>2. 生息状況の把握手法 既知の個体数推定方法のほか、センサーカメラなどによる把握など、複数の方法による比較検証。</li> <li>3. 食害防護対策 シカ・ウサギとも防護可能なネットや有効な忌避剤の検証等。</li> <li>4. 効果的な捕獲手法 既知のくくり罠などのほか、新たな捕獲わなを開発し比較検証する。併せて捕獲効率向上に資する諸条件(設置場所や誘引手法)を検証する。</li> <li>5. 生息状況と苗木食害程度及び成長量の関連などを調査・検証する。</li> </ol>						
年度別計画及び経費	平成29年度		平成30年度		平成31年度		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存情報の収集・分析</li> <li>2. 個体数推定方法の比較検証</li> <li>3. 効・ワナ 兼用防護ネットの設置</li> <li>4. 検証する忌避剤の絞り込み</li> <li>5. 新たな捕獲わなの開発</li> <li>6. 新たに開発したわな及び既知のわなによる捕獲試験・比較検証</li> <li>7. 捕獲効率向上手法の検証（誘引餌・手法、設置箇所）</li> <li>8. 苗木の食害程度および成長量などの調査プロットの設定</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個体数推定方法の比較検証</li> <li>2. 防護ネットの保全効果の検証</li> <li>3. 忌避剤の有効性の検証</li> <li>4. 新たに開発したわな及び既知のわなによる捕獲試験・比較検証</li> <li>5. 捕獲効率向上手法の検証（誘引餌・手法、設置箇所）</li> <li>6. 設定プロットの調査・検証</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各検証試験及び試験結果の取りまとめ</li> </ol>		
	経費 1,500千円		経費 100千円		経費 千円		
技術開発委員会における意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノウサギの被害実態を、シカと区分して調査・整理する必要がある。</li> <li>・試験項目が多岐にわたることから、調査内容の絞り込みなどが必要ではないか。</li> <li>・過去の調査研究の情報を収集・整理し、使用可能な手法などを検討することが必要。</li> <li>・防護ネットは市販のものもあるので、試用を検討されたい。</li> </ul>						

